

電動座位変換機能と効用

ペルモビールが誇る豊富な電動座位変換機能。二つ以上の機能を複合的に利用することで単機能では得られない効果が期待できます。

STANDING

スタンディング

リクライニング、ティルト、足エレベーション、シートリフト、下腿長調整が複合的に動作

期待される効用

- +骨粗鬆症を予防
- +骨格の変形を予防
- +褥瘡の予防
- +循環器系の改善
- +腎臓と膀胱の機能の改善
- +拘縮予防と関節可動域の改善
- +腸機能の改善
- +呼吸機能の改善

外科医：アルフォード先生



※写真は、職場での利用風景

F5の立ち上がりは、非常に快適で、立った後に背中や膝下角度を微調整ができるので最適な立位姿勢で作業が可能です。

電動座位変換機能と効用



リクライン&ティルト&足台エレベーション 複合利用

- +急性起立性低血圧の管理ができる
- +関節の角度を変えられることが、独立した筋緊張の管理を可能にする
- +下部を心臓より高い位置にすることにより浮腫の予防効果が期待できる
- +移乗することなしに最高の休息姿勢をとることが可能になる

リクラ・ティルト・足台エレベーションを併用した休憩姿勢は本当に楽です。ベッドの上よりリラックスできる気がします。

頸椎損傷 女性 京都府



0-45° 前傾ティルト

- +リクライン、ティルト、足台エレベーション、リフト、下腿長調整が複合的に動作
- +上肢の到達範囲を広げる
- +シートエレベーターと連動した前傾ティルトが臀部を持ち上げた姿勢からの移乗動作を助ける
- +介助者の負担を軽減する
- +骨盤の位置と腰椎の前湾をより良い状態にする

座った要る姿勢よりも前方に手を伸ばせるので、手を洗うのが楽になりました。

筋疾患 男性 兵庫県

電動座位変換機能の司令塔

ICS(インテリジェント・コントロール・システム)

ICSはペルモビール独自の電動座位変換機能制御システム。独自のノウハウが詰まったICSは、各機能を掌るアクチュエーターの位置情報や動作速度、動作順序を統合的に管理、制御しています。複数のアクチュエーターを同時に制御することが求められる前傾ティルトやスタンディングでも違和感のない動作を実現します。

また、同システムに装備されるシートポジションメモリ機能では、記録した任意の座位姿勢を再生することができます。食事のとき、移動のとき、休憩のときなど、必要に応じて最適な姿勢を容易に再現可能です。



※iOSとアンドロイドに対応。近日発売予定。

日々のリハビリを常にサポート

VSC(ヴァーチャル・シーティング・コーチ)

医師や療法士は、座圧に寄って起る床ずれや痛みの問題がある患者に対し、電動ティルト機能などを利用した座位変換を推奨します。座位変換による体圧分散や姿勢変換による血流改善はリハビリ計画によく組み込まれます。

しかし、患者が家に戻った後はどうでしょうか？

健康を促進し、独立性とより良い生活を取り戻す為には、継続的な体圧分散を行う事が有効だとわかってはいますが、帰宅した患者の行動までは管理しきれないというのが、医療従事者が抱えている問題です。

そこで、ピッツバーグ大学人間工学研究所とペルモビールが共同開発した解決策をご紹介します。

バーチャル・シーティング・コーチ=VSC(特許出願中)は、医師、療法士が患者にとって適切な座位変換メニューをアプリに入力することで、遠方にいる患者にも指導することができる画期的なシステムです。VSCは、スマートフォンアプリと連携し、患者へ座位変換のタイミングをお知らせします。そして、適切な体圧分散の姿勢とその維持時間をコーチングします。更に、患者の実施状況をサーバーで管理し、医師や療法士がどこにいても実績管理することが可能となります。

電動座位変換機能と効用



0-50° 後傾ティルト

- + 脊椎への荷重（負荷）を減少させる
- + 坐骨結節への圧力を減少させる
- + 重力によって移乗動作が助けられる（滑り座の姿勢を補正できる）
- + 傾斜路面での安全な通り抜けを可能にする

姿勢が崩れると自分ひとりでは、姿勢を戻すことができないのですが、ティルト機能は姿勢を崩すことなく休憩が取れるので、自分の時間を延ばすことができるので必須機能です。
筋疾患 男性 埼玉県



85° -180° リクライン

- + 股関節の角度を変えることで関節可動域の維持・向上ができる
- + 座っていることへの耐性（座位耐久性を高める）
- + 胴体の安定を高める—姿勢の保持と円背への順応
- + 拘縮の予防（股関節の屈筋）

ほぼまった平らに横になることで、お通じが非常に楽になりました。おなかを伸ばすことで身体が大きく変わる事を実感！
神経難病 女性 群馬県



ティルト&リクライン 複合利用

- + 安楽姿勢でも視界の確保ができる
※単体機能のみだとそれぞれの角度を深くする必要のある為視界を確保できない
- + 姿勢を崩すことなく除圧ができる
- + 機能的姿勢を提供する
※単体機能だと動かせなかった腕が、ティルトとリクラを調整することで動かせる

最大までティルトしてそこからリクライニングをかけるとお尻の圧迫がなくなるのがよくわかります。ティルトだけでなくリクラも併用するとより高い除圧効果があります。
男性 愛知県



90° -170° 足台エレベーション

- + 減速時に安全な姿勢を維持する
- + 地面とのクリアランスを確保する
- + ひざ関節の拘縮の予防（ももの後ろの腿ハムストリングス短縮化の予防）

足台の角度により、痛みが発生するのでこまめに角度調整しています。ヘルパーさんには頼みづらい頻度なので電動は必須です。
ALS 男性 東京都



リクライン&足台エレベーション 複合利用

- + 仰向けの姿勢で体を滑らせて移乗できる
- + 拘縮の予防（ハムストリングと股関節屈筋）
- + シーティングとの接触面からの圧力を減少させる（設置面積を広くして分散）
- + 起立性低血圧を緩和する

関節可動域の確保と拘縮予防にリクラと足台エレベーターを毎日使っています。連動でも単独でも動かせるので、狭い場所でもリハビリできて満足です。
筋疾患 神奈川県



シートリフト

- + 視野を広げる
※首の痛みを伴わずに視線を高くできる
- + 小児の社会性と空間認知能力の発達に貢献
- + 自尊心と自信を高める

仕事柄人前で話をする事が多いのですが、視線が高いと自信がつくし、何より相手の反応が違いますね。目を見て話す為に、重たい頭を上へ傾け続けると首の痛みが酷かったです。目線調整できるリフト機能は大事な機能です。
脊髄損傷 男性 大阪府